

令和 3年度 事務事業評価表（個票）

課名 健康推進部地域包括ケア推進課

作成日 令和 4年 8月 5日

概要	施策名	高齢者保健・福祉	基本目標	健康で福祉が充実したまち
	施策の目的	高齢者が住み慣れた地域で、人生の最期まで自分らしい生活を送ることができる社会を実現すること。		
施策の方向		包括的支援の推進		
令和 3年度 の評価	<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり <input type="checkbox"/> 遅延 <input type="checkbox"/> 進展なし	年間計画に従いいずれも目標値を達成した。街中ほっとサロン、地域包括支援センター、三島市医療介護連携センターを中心に、新型コロナ禍においても工夫して各分野の相談支援事業の運営を行った。また、地域ケア会議事業では多職種連携強化や、高齢者の自立支援に向けての課題を整理し社会基盤整備のため各種会議を実施し、地域で高齢者を支えるネットワークの強化、体制づくりを進めた。		
今後の方向性 (改善措置等)	<input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善	事業計画は維持しつつ各事業内容についての課題を検討して事務改善、環境整備を行うとともに、関係機関との連携を推進し、地域包括ケアシステムの更なる推進を図る。		

No.	事務事業名	活動指標名	単位	活動内容				コスト（事業費：千円）			
				令和 2年度 実績	令和 3年度 計画	令和 3年度 実績	令和 4年度 計画	令和 2年度 決算	令和 3年度 当初予算	令和 3年度 決算	令和 4年度 当初予算
1	高齢者くらし相談事業	街中ほっとサロン来所者数	人		6,800	11,088	7,000	0	7,832	6,905	8,011
	全体事業概要							令和 5年度の優先度			
	高齢者くらし相談室「街中ほっとサロン」を市中心部の街中に設置し、多くの高齢者が気軽に悩みごとや困りごとを相談できる場所を提供する。相談室で受けた相談は適切な支援ができる窓口へ繋ぎ、高齢者の心身の健康の保持増進及び地域での安心した生活の維持・継続を促進する。							<input type="checkbox"/> A	<input type="checkbox"/> B	<input type="checkbox"/> C	<input type="checkbox"/> D
	令和 3年度 の評価	<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり <input type="checkbox"/> 遅延 <input type="checkbox"/> 進展なし	近年、来所者数は減少傾向だったが、令和3年3月からみしまタニタ健康クラブの体組成計とリーダーライターを設置したことで来所者数が増加している。								
	事業区分	<input type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託 <input type="checkbox"/> その他	今後の方向性 (改善措置等)	<input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止	体組成計等を設置したことで来所者数が増加しているため、今後も継続していく。						
計画対象	<input type="checkbox"/> 実施計画査定対象 <input type="checkbox"/> 行政改革対象										

No.	事務事業名	活動指標名	単位	活動内容				コスト（事業費：千円）			
				令和 2年度 実績	令和 3年度 計画	令和 3年度 実績	令和 4年度 計画	令和 2年度 決算	令和 3年度 当初予算	令和 3年度 決算	令和 4年度 当初予算
2	地域包括支援センター運営事業	地域包括支援センター設置数	箇所		5	5	5	0	95,596	93,428	95,703
	全体事業概要							令和 5年度の優先度			
	地域包括ケア実現に向けて、総合相談支援業務、権利擁護業務、包括的・継続的ケアマネジメント支援業務などを行う地域包括支援センターを設置し、高齢者の保健医療の向上及び福祉の増進を包括的に支援する。							<input type="checkbox"/> A	<input type="checkbox"/> B	<input type="checkbox"/> C	<input type="checkbox"/> D
	令和 3年度 の評価	<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり <input type="checkbox"/> 遅延 <input type="checkbox"/> 進展なし	市内5つの生活圏域毎に地域包括支援センターを設置し、高齢者が在宅での生活を継続していくため、状況に応じて必要なサービスを提供している。講座や勉強会など、令和2年度はコロナ禍により開催できないことも多かったが、令和3年度は少人数での実施やオンラインなど工夫をして開催することができた。								
	事業区分	<input type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託 <input type="checkbox"/> その他	今後の方向性 (改善措置等)	<input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止	高齢者が在宅での生活を継続していくことができるよう、必要なサービスが包括的・継続的に提供できるよう、地域住民やサポートをする介護支援専門員に対し、研修や講座を開催するなど、個別支援や環境整備を行って						
計画対象	<input type="checkbox"/> 実施計画査定対象 <input type="checkbox"/> 行政改革対象										

※決算額については、端数処理により、他資料の決算額と差異が生じている場合もあります。

令和 3年度 事務事業評価表（個票）

課名 健康推進部地域包括ケア推進課

作成日 令和 4年 8月 5日

概要	施策名	高齢者保健・福祉	基本目標	健康で福祉が充実したまち
	施策の目的	高齢者が住み慣れた地域で、人生の最期まで自分らしい生活を送ることができる社会を実現すること。		
施策の方向		包括的支援の推進		
令和 3年度 の評価	<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり <input type="checkbox"/> 遅延 <input type="checkbox"/> 進展なし	年間計画に従いいずれも目標値を達成した。街中ほっとサロン、地域包括支援センター、三島市医療介護連携センターを中心に、新型コロナ禍においても工夫して各分野の相談支援事業の運営を行った。また、地域ケア会議事業では多職種連携強化や、高齢者の自立支援に向けての課題を整理し社会基盤整備のため各種会議を実施し、地域で高齢者を支えるネットワークの強化、体制づくりを進めた。		
今後の方向性 (改善措置等)	<input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善	事業計画は維持しつつ各事業内容についての課題を検討して事務改善、環境整備を行うとともに、関係機関との連携を推進し、地域包括ケアシステムの更なる推進を図る。		

No.	事務事業名		活動内容				コスト（事業費：千円）				
	活動指標名	単位	令和 2年度 実績	令和 3年度 計画	令和 3年度 実績	令和 4年度 計画	令和 2年度 決算	令和 3年度 当初予算	令和 3年度 決算	令和 4年度 当初予算	
3	在宅医療・介護連携推進事業										
	全体事業概要										
	①	在宅医療介護連携推進会議、講演会、研修、講座等の開催回数	回		11	11	11	0	4,349	4,226	4,360
	②										
	③										
	令和 3年度 の評価	<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり <input type="checkbox"/> 遅延 <input type="checkbox"/> 進展なし	地域医療講座や出前講座、広報みしまへの特集記事の掲載などにより人生会議や看取りガイドについて周知を行うとともに、入院時の情報提供について、シートの作成やルール作りを行った。								
事業区分	<input type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託 <input type="checkbox"/> その他		今後の方向性 (改善措置等)	<input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 住民自らが希望する方法で療養ができるよう、人生会議や看取りガイドについてさらなる周知を行うとともに、退院時の連携がスムーズにできるよう、情報提供シートの作成やルール作りを行って行く。また、在宅での生活を支える専門職の多職種間の連携を図るための研修を行って行く。							
計画対象	<input type="checkbox"/> 実施計画査定対象 <input type="checkbox"/> 行政改革対象										
令和 5年度の優先度											
<input type="checkbox"/> A <input type="checkbox"/> B <input type="checkbox"/> C <input type="checkbox"/> D											

No.	事務事業名		活動内容				コスト（事業費：千円）				
	活動指標名	単位	令和 2年度 実績	令和 3年度 計画	令和 3年度 実績	令和 4年度 計画	令和 2年度 決算	令和 3年度 当初予算	令和 3年度 決算	令和 4年度 当初予算	
4	地域ケア会議推進事業										
	全体事業概要										
	①	地域ケア会議の開催回数	回		40	45	40	0	375	223	375
	②										
	③										
	令和 3年度 の評価	<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり <input type="checkbox"/> 遅延 <input type="checkbox"/> 進展なし	地域ケア個別会議の開催数が増加したため計画値を超えた。近年、多問題ケースが増加しており、ますます多職種・多機関との連携が必要となっている。また自立支援サポート会議においては、多職種からの助言が受けられており、効果的にケアマネジメントの視点が広がっていると思われる。								
事業区分	<input type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託 <input type="checkbox"/> その他		今後の方向性 (改善措置等)	<input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 自立支援・重篤化防止等に資する観点から、多職種と連携して個別事例の検討を行う地域ケア会議の普及が進められている。助言者へのアンケートや検討事例のモニタリング調査の結果を踏まえ、より効果的な会議となるよう、開催方法等を随時検討して行くことが必要である。							
計画対象	<input type="checkbox"/> 実施計画査定対象 <input type="checkbox"/> 行政改革対象										
令和 5年度の優先度											
<input type="checkbox"/> A <input type="checkbox"/> B <input type="checkbox"/> C <input type="checkbox"/> D											

※決算額については、端数処理により、他資料の決算額と差異が生じている場合もあります。